

## . NETについて (2)

IP電話の三菱電機系のサービス会社に「アイピートーク (IPTalk)」があります。このIPTalkは他のIP電話サービスとはちょっと違っていています。変わっているのは、どこのプロバイダもIP電話サービスとして提供していないことも1つです。確かに同じ系列のDTIだけは、ホームページで紹介していますが、それだけで、特にサービスの1つとしているわけではありません。というのも、IPTalkがプロバイダを限定していないサービスだからで、ブロードバンドであれば、ADSL、光、CATVのどれでもよく、プロバイダがどこでも問題ありません。もちろんIPTalk同士でなければ無料通話はできませんが、これは他のIP電話サービスでも同じですから問題になりません。ではIPTalkはどのように接続するのでしょうか。IPTalkは、インターネット電話アダプタを使用し、電話回線とLANケーブルを接続します。この際のLANケーブルは、プロバイダがどこでもインターネットに接続できるものであればかまいません。多少他のサービスと違って面倒なのは、このアダプタを設置するときに設定が必要となるということです。設定する項目は、固定電話の電話番号、ナンバーディスプレイなどのサービス内容、ルータのIPアドレスとそのLAN上でのIPTalkのIPアドレスなどです。多少めんどくさいですが、出張設定サービスもあります。これだけ設定するとIPTalkが使えるようになるのですが、実際使用する場合、相手先に電話することになります。普通に。もし相手先の電話にIPTalkが接続されていたら、そのIPアドレスなどの設定情報を交換することになります。すると、次回から同じ様に電話をかけると、自動でIP電話で接続されるようになります。目的もなく進めるままにIP電話に入ってしまう人もいるでしょうが、IPTalkの場合は、相手が決まっているのであれば、相談して両方が導入すればいいわけですから、簡単かもしれません。

ところで、IPTalkには、個人向け以外に法人向けサービスがあります。会社の各拠点でインターネットへのブロードバンド接続環境が整っていれば、各拠点のPBX (交換機) の公衆回線側にアダプタを接続すれば、拠点間通話が無料になります。拠点以外への通話も全国3分8円と安く、今では携帯電話へも3分59円、国際電話も台湾へ3分88円と安くなりますし、もし、拠点間だけであれば公衆回線も必要なく利用できます。電話機も、電話番号もPBXもそのまま利用でき、もちろんインターネットもそのまま利用することができます。

IP電話は、無料電話として脚光を浴びています。しかし、現状ではまだいろいろ問題がありそうです。無料といっても同じIP電話サービス業者間でなければ接続できない、近距離であまり電話しないようなら基本料を考えても割高になる可能性があるなど。まだ、加入電話が必要ですから、IP電話を入れたから加入電話が要らなくなるわけでもありませんし。といっても、一部の電話には「050」で始まる番号がつけられています。現在はまだこの番号でIP電話に電話できるわけではありませんが、IP電話間ではこの番号が使えますし、今年の夏以降にNTTの交換機のソフトの書き換えが完了すれば、かけられるようになります。また、IP電話事業者間のも相互接続も進んでいます。とはいっても、IP電話事業者は実は大手プロバイダが利用しているものだけでなく、自治体を主体としたCATVでは、それぞれにIP電話サービスを行っているのが現状です。全国的に相互接続ができるようになるのが待たれるところです。

(連載終了)

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 6月9日号

特集 電源だってユビキタス

→ユビキタス社会は、いつでもどこでも情報とやり取りできる社会。しかし、いまだに電池やコンセントは欠かせない。自給自足で動くユビキタス電源としては、歩いて発電、振って発電、体温で発電など。低消費電力化と合わせてユビキタスかが始まるか。

解説 Blu-ray Discの底力 ついに大台100Gバイトへ

→青紫レーザー光を使う次世代光ディスクの開発が加速、記憶容量は100Gバイトに達し、転送速度は200Mbpsを超えた。

○日経パソコン 6月9日号

特集 今さら聞けないトラブル解決のコツ

→どんなトラブルでも基本的な作法を試すことで解消することができる。おかしかったらまず、基本の「七大鉄則」を試してみる。サポートに頼るばかりが早道ではない。

特集 意外と知らないプリンタドライバ

→カラープリンタのドライバも使い方しだい。きれいにしようと思って高画質にしても養子が会わなければきれいに印刷できない。よりきれいな印刷結果を得るためにプリンタドライバにこだわる。

特集 今こそ入ろうFTTHサービス

→究極のブロードバンドFTTHが身近になってきている。ADSLでブロードバンドを導入しても、思ったほどスピードが出ていないなどの理由で乗り換えを検討している人が多い。これまでネックだった工事費用の無料などのキャンペーンでさらに身近に。

○DOS/V magazine 7月1日号

特集 PCアップグレード好機到来

→Pentium4のチップセットが、次期Pentium4対応のものが出荷されたり、ビデオカードも出揃い、HDDやDVDドライブなども低価格化が進み、PCをアップグレードするのに好条件となっている。今、どうアップグレードすればよいか、CPUとキャプチャーDVDに焦点を当てる。

特集 身近になったRAIDの世界

→Intel875Pと共にリリースしたICH5Rでチップセットに統合されたRAID機能。身近になっていざ使おうとしたときに学ぶ、RAIDの基礎と、構築するまでのハードウェアの検証。